

平成21年度全国高等学校総合体育大会
第59回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
実 施 要 項

主 催	(財) 全国高等学校体育連盟 (財) 日本スケート連盟 (財) 日本アイスホッケー連盟 北海道、北海道教育委員会 釧路市 釧路市教育委員会
後 援	文部科学省 (財) 日本体育協会、日本放送協会 (財) 北海道体育協会 釧路市体育協会
主 管	(財) 全国高等学校体育連盟スケート専門部 北海道高等学校体育連盟 (財) 北海道スケート連盟 (財) 北海道アイスホッケー連盟
協 賛	コカ・コーラ

1 会 期

区 分	競 技 名	期 日
開 会 式	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	平成22年1月20日(水)
競 技	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	平成22年1月21日(木) ～24日(日) (フィギュアは23日(土)まで)

2 会 場

区 分	競 技 名	会 場
開 会 式	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	釧路市民文化会館
競 技	スピード競技	釧路市柳町スピードスケート場
	フィギュア競技	釧路市春採アイスアリーナ
	アイスホッケー競技	釧路市釧路アイスアリーナ 十條アイススケートセンター 釧路市柳町アイスホッケー場

3 競技種別及び距離

(1) スピード競技

種 別	距 離					
	500m	1,000m	1,500m	5,000m	10,000m	2,000m リレー
男 子	500m	1,000m	1,500m	5,000m	10,000m	2,000m リレー
女 子	500m	1,000m	1,500m	3,000m	/	2,000m リレー

(2) フィギュア競技

男 子	シングルスケートティング
女 子	シングルスケートティング

(3) アイスホッケー競技 (男子)

4 競技規定

平成21年度(財)日本スケート連盟、(財)日本アイスホッケー連盟競技規則・規定並びに本大会要項によるほか、(財)全国高等学校体育連盟スケート専門部規定による。

5 競技方法

(1) スピード競技

- ア 男子、女子ともに各距離ごとにダブルトラックとする。
- イ 男子、女子ともに1, 500m以上の距離は、カルテットスタートの競技方法を採用する。
- ウ シードと組み合わせ
 - ①第1グループは、前年度本大会当該距離8位以内の選手と、前年度及び当年度申込締め切り期日までに開催された、日本スケート連盟公式競技会における当該距離の自己最高タイムランキングによって8名を構成する。但し、前年度本大会の成績を優先させる。それ以外の出場選手を第2グループとする。
 - ②第1グループの組み合わせは抽選による。第2グループの選手は申告された自己最高タイムランキングに従って行い、同タイム及びタイムがない選手は抽選し構成する。また、同じ組に同一校の選手が入らないように調整する。但し、同カルテット内は調整しない。これらは全国高体連スケート専門部及び大会事務局により事前抽選する。
 - ③スタート順は、下位の組から出走する。但し、競技会の事情（気象状況等）により、公式記録上位の選手が不利になると判断された場合には、上位の選手から出走させることが出来る。
 - ④組み合わせ後に棄権者が出た場合には、シード内のみで再編成が出来る。但し、独走となった組のみの再編成とし大幅な再編成は行わない。また、選手変更は、その種目開始1時間前までに行うことができ、補欠選手は当該校の選手の位置と入れ替わる。（変更する選手の公式記録によって組の変更は行わない）
 - ⑤公式記録は、前年度及び当年度申し込み締め切り日までに開催された、国際競技会を含む日本スケート連盟公式競技会における自己最高タイムでなければならない。（別表の日本スケート連盟公式競技会を参照）
- エ 500mはインレーンスタート及びアウトレーンスタートの2回の合計タイムで順位をつける。但し、2回目に滑走できる選手は、男子女子それぞれインレーンスタート上位12名、アウトレーンスタート上位12名の24名とタイム順に6名の合計30名とする。2回目組み合わせ後に棄権者が出た場合でも、繰り上げることはしない。
- オ 得点は、各距離24位までと、リレー競技の12位までに各1点を与える。
- カ 入賞は各距離（リレーを含む）8位までとし、得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点を与える。
- キ 学校対抗順位は、各距離（リレーを含む）の得点を学校別に合計し、その合計点により順位を決定する。但し、同点の場合は、上位入賞の多い学校を上位とする。
- ク 競技場は、ダブルトラック1周400mの標準トラック（Cタイプ）とする。
- ケ 参加資格グループ確認のため、参加選手は様式-S-6にバッジ認定証の写しを添付する。
- コ ショートトラックバッジテスト取得者は、競技の性質上同列には扱わない。

(2) フィギュア競技

- ア 競技は、予選、決勝方式により行う。
 - 【予選】：男子クラス・女子クラスともにショートプログラムにより行う。
ISUジュニアの課題を適用する。
 - 【決勝】：男子クラス・女子クラスともにフリースケーティングにより行う。
ISUジュニアの男子ならびに女子のバランスのとれたフリースケーティングを適用する。
- イ 選抜方法
男子クラス・女子クラス予選のそれぞれ上位24位までの選手が決勝に進出する。
- シード
当該年度の全日本フィギュアスケート選手権大会上位24位まで、全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会上位12位まで、前年度の全国高等学校総合体育大会上位12位までの選手を、シード選手とする。
- 予選の組分方法
参加人数が、男子クラス、女子クラスそれぞれにおいて41名以上の場合は、2つの組に分けて予選を行い、各組上位12位までの選手が決勝に進出する。シード選手は、前記大会順、入賞順に2組に振り分け、シード選手以外の選手および特別枠出場選手【9（2）による】は、それぞれ抽選で2組に分ける。組分けの抽選は、審判長、全国高等学校スケート専門部および大会事務局の責任において事前に行う。組分け後に棄権者が出た場合でも、組の再編成は行わない。
- ウ 採点方法
ISUジャッジングシステムで行う。

エ 滑走時間

男子クラス	予選	ショートプログラム	(2分50秒以内)
	決勝	フリースケーティング	(4分00秒)
女子クラス	予選	ショートプログラム	(2分50秒以内)
	決勝	フリースケーティング	(3分30秒)

オ 成績

【個人最終成績】：決勝進出者については、予選の得点と決勝の得点の合計点により個人順位を決定する。同点の場合は、フリースケーティングの得点が高い選手を上位にする。決勝へ進出出来なかった者については、決勝進出者の最後の順位に続けて、予選の得点により個人順位を決定する。同点の場合は、同順位とする。ただし、予選を2つの組に分けた場合は、それぞれの組で個人順位を決定し、2つの組に並列に同じ順位を与える。

【学校対抗成績】：個人順位の逆転法により個人に順位点を与え、順位点を学校別に集計し学校対抗順位を決定する。ただし、同点の場合は上位者の多い学校を上位とする。

(3) アイスホッケー競技

ア トーナメント競技方式により、1位、2位、3位(2校)までを決定する。

イ 組み合わせ抽選は、全国専門部・北海道アイスホッケー連盟・大会事務局合同での事前抽選とする。

ウ 組み合わせ抽選の際、前回大会1位、2位、3位(2校)の学校をシードし、地区は考慮しない。

6 引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

(2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが、外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うものとする。

【補足事項】

(1) アイスホッケー競技の引率責任者及び監督は、当該校の教職員とする。コーチ・トレーナーは当該学校長より委嘱された者であること。

(2) スピード競技・フィギュア競技の引率責任者は、当該校の教職員とする。但し、やむを得ない事情により引率できない場合は、他校の教職員が引率することができる。監督・コーチは、当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。

(3) 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

7 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。

(2) 選手は各都道府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で各都道府県スケート連盟・アイスホッケー連盟を通じてそれぞれ(財)日本スケート連盟または(財)日本アイスホッケー連盟に登録された者であること。

(3) 年齢は平成2年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(4) 同一学校であってもチーム編成において、全日制・定時制・通信制の課程の生徒による混成は認めない。

(5) 転校後6ヶ月未満の生徒は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。

(6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。

(7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

ア 7の(1)(2)に定める生徒以外で、大会参加資格を満たし、かつ都道府県高等学校体育連盟が推薦する生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 7の(3)アのただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第 72 条、115 条、124 条及び 134 条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア (財) 全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8 参加制限

- (1) スピード競技・フィギュア競技においては、申し込み選手のほか、監督 1 名、コーチ 1 名以内とし、アイスホッケー競技においては、申し込み選手のほか、監督 1 名、コーチ 1 名、トレーナー 1 名以内とする。
- (2) 外国人留学生については、スピード競技・フィギュア競技は 1 校男女各 1 名、アイスホッケー競技は競技出場 2 名以内とする。

9 出場制限

- (1) スピード競技
 - ア (財) 日本スケート連盟スピードスケート・バッジテスト C 級以上の資格取得者であること。
 - イ 1 学校 1 距離 2 名以内(リレーを除く)とする。
但し、リレーは登録 6 名以内とし、出場者はそのうち 4 名とする。
 - ウ 補欠選手は各距離 1 名とし、すでに 2 距離(リレーを除く)に出場申し込みしたものは補欠となることはできない。
- (2) フィギュア競技
 - ア (財) 日本スケート連盟フィギュア・スケーティングバッジテスト男子 5 級以上、女子 6 級以上の資格取得者であること。ただし、男子 5 級以上、女子 6 級以上の資格取得者がいない都道府県については、特別枠として都道府県代表、男子・女子それぞれ 1 名の出場を、男子 4 級、女子 5 級取得者に限り、認めることとする。
 - イ 1 学校男女各 4 名以内で申し込み、競技出場者は各 3 名以内とする。
- (3) アイスホッケー競技
 - ア 各ブロックで予選を行い、代表校を決定する。出場校は各ブロックからの代表校 2 6 校と、開催地推薦校を加えたチームとする。(北海道ブロック 8 校 東北ブロック 6 校 関東ブロック 8 校 北信越・東海・近畿ブロック 3 校 中国・四国・九州ブロック 1 校)
 - イ 1 学校 1 チームとし、1 チーム競技出場者はゴールキーパー 1 名以上 2 名以内を含めて 1 1 名以上 2 2 名以内とする。(但し、プレーヤーは 1 0 名以上 2 0 名以内とする)
 - ウ 選手はフェイスマスク(全面を覆うもの)、ネックガードを着用すること。

10 競技日程

	スピード競技	フィギュア競技	アイスホッケー競技
21日 (木)	①女子 500m 1本目 ②男子 500m 1本目 ③女子 500m 2本目 ④男子 500m 2本目 ⑤男子 5,000m	女子予選Aショートプログラム 男子予選ショートプログラム	第1回戦
22日 (金)	①女子 1,000m ②男子 1,000m	女子予選Bショートプログラム 男子決勝フリースケーティング	第2回戦
23日 (土)	①女子 3,000m ②男子 10,000m	女子決勝フリースケーティング	第3回戦 準決勝
24日 (日)	①女子 1,500m ②男子 1,500m ③女子 2,000m R ④男子 2,000m R		決勝

1 1 表 彰

(1) スピード競技

- ア 男女別に総合(学校対抗) 6位までに賞状、優勝校に優勝杯(持ち回り)を授与する。
- イ 男女別に各距離 8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

(2) フィギュア競技

- ア 男女別に総合(学校対抗) 6位までに賞状、優勝校に優勝杯(持ち回り)を授与する。
- イ 男女別に個人 8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

(3) アイスホッケー競技

- ア 3位(2校)までに賞状、優勝校には優勝杯(持ち回り)を授与する。
- イ 優勝校の各選手に賞状と優勝メダルを授与する。
- ウ 準優勝校の各選手に賞状と準優勝メダルを授与する。
- エ 3位(2校)の各選手に賞状を授与する。

1 2 参加申し込み

※ 個人情報の取り扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用されることはありません。

(1) 申込期限

- 平成22年 1月 4日(月)正午必着
- ただし、フィギュア競技は申込書(様式-F-8-1~3)について平成21年12月15日(火)正午必着で、大会事務局宛にメール送信すること。

(2) 申込先

〒084-0910 北海道釧路市昭和中央5-10-1 北海道釧路商業高等学校内
平成21年度全国高等学校総合体育大会
第59回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
北海道実行委員会事務局宛
TEL 0154-55-1555 FAX 0154-55-1588
メールアドレス ihskating@gmail.com

(3) 申込方法

- ア 各都道府県責任者は参加校の関係書類(様式4~10の必要な書類)を確認のうえ、北海道実行委員会 HP(<http://www.ih-skating.hokkaido-c.ed.jp>)より書類(様式1~3)をダウンロードして下記の書類を作成し、所属高等学校体育連盟会長を經由して郵送にて申し込むこと。

- (ア) 申込送付書及び送金確認書 (様式-1)
- (イ) 都道府県選手団申込一覧表 (様式-2)
- (ウ) 都道府県別役員視察員宿泊申込書 (様式-3)

- イ 各参加校は、北海道実行委員会 HP(<http://www.ih-skating.hokkaido-c.ed.jp>)より申込書(様式4~10)をダウンロードして必要な書類を作成し、各都道府県責任者に提出すること。同時に大会参加校は様式(4~10)をメール添付(ihskating@gmail.com)にて送信すること。なお、様式-10はファクシミリ(0154-25-0844)にて大会事務局の配宿センターへ通知すること。

- (ア) 学校別参加申込書 (様式-4) } メール送信
- (イ) スピード競技出場申込書(男女別) (様式-S-5) } 申込時提出
- (ウ) スピード競技バッジテスト取得級添付用紙 (様式-S-6) — 申込時提出
- (エ) スピード競技リレー申込票 (様式-S-7) }
- (オ) フィギュア競技出場申込書(男女別) (様式-F-8-1) } メール送信
- (カ) フィギュア競技演技予定要素リスト (様式-F-8-2) } 申込時提出
- (キ) フィギュア競技希望者割当練習調査表 (様式-F-8-3) }
- (ク) アイスホッケー競技出場申込書 (様式-H-9) }
- (ケ) 宿泊申込書 (様式-10) — FAX・メール送信

※様式-F-8-1~F-8-3については12月15日(火)正午までに大会事務局にメール送信すること。

- ウ 参加料、プログラム代及び大会報告書の送金は銀行振込とし、銀行で発行した振込金受領書のコピーを必ず申込用紙の所定の欄に貼付すること。なお、大会事務局からは、各参加学校に参加料・プログラム等の領収書は発行しない。また、送金の際には、次の銀行口座に電信扱いで振り込むこと。

振込先	指定銀行	釧路信用金庫	昭和支店
	普通預金	口座番号	0067694
	名義人	第59回全国高校スケート大会 実行委員会	
	会長	吉澤正伸（よしざわまさのぶ）	

- エ 申込書類の送付は書留速達とし、封筒に「大会申込書在中」と朱書きすること。
オ 申込書類発送と同時に、大会参加校は様式4～10をメールにて、様式-10をファクシミリにて配宿センターに通知すること。

大会事務局 メールアドレス ihskating@gmail.com

配宿センター FAX 0154-25-0844

- カ 電報、電話による申し込みは一切受け付けない。
キ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは、一切受け付けない。

(4) 参加料

ア スピード・フィギュア競技 1名 2,500円
イ アイスホッケー競技 1チーム 23,000円

申し込みと同時に納入すること。申し込み後は、参加の取り消しがあっても返金しない。

(5) プログラム

無料配布は、参加校1校各競技別に1部を配布し、その他は1部1,500円で販売する。代金は、申し込みと同時に納入すること。

(6) 大会報告書

競技成績が掲載されている大会報告書を購入希望する学校は、参加申込と同時に申し込むこと。1部2,000円（送料含む）の代金は、申込と同時に納入すること。

1.3 宿 泊

- (1) 宿泊申込については、必ず配宿センターを経由すること。
(2) 詳細については、宿泊要項による。

1.4 輸 送

輸送については、輸送要項による。

1.5 医療救護

医療救護については、医療救護要項による。

1.6 式典及び諸会議

		日 時	会 場
抽選会議	スピード競技	1月6日(金)10時00分	北海道釧路明輝高等学校
	フィギュア競技	1月20日(水)10時00分	釧路全日空ホテル
	アイスホッケー競技	1月5日(金)14時00分	武修館高等学校
監督会議	スピード競技	1月20日(水)9時30分	釧路市柳町スピードスケート場
	フィギュア競技	1月20日(水)10時00分	釧路全日空ホテル
	アイスホッケー競技	1月20日(水)10時00分	釧路プリンスホテル
開会式	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	1月20日(水)14時00分	釧路市民文化会館
閉会式	スピード競技	1月24日(日)競技終了後	釧路市柳町スピードスケート場
	フィギュア競技	1月23日(土)競技終了後	釧路市春採アイスアリーナ
	アイスホッケー競技	1月24日(日)競技終了後	釧路市釧路アイスアリーナ

1 7 留意事項

- (1) 開会式には、各都道府県高体連旗を使用する。各都道府県高等学校体育連盟は、高体連旗を申込みと同時に大会事務局へ送付すること。使用後は、事務局で各都道府県高体連へ送付する。なお、ポールは事務局で準備する。
- (2) 各競技の公式練習の時間は大会事務局で割り当てる。
- (3) 諸事情により不参加が決定した学校は、速やかにその旨をファクシミリ又は電子メールで大会事務局に連絡すること。
- (4) スピード競技出場者は、必ずバッジテスト認定証を持参しなければならない。
- (5) フィギュア競技の引率責任者は、選手のフィギュア・スケATINGバッジテスト受験者手帳およびショートプログラム競技で使用する音楽の録音媒体を監督(引率責任者)会議に持参すること。また、フィギュア・スケATINGバッジテスト受験者手帳は大会期間中は競技出場者が携帯していること。
- (6) フィギュア競技で使用する音楽の曲名、作曲者名および演奏時間については、様式-F-8-2の所定の欄に記載すること。録音媒体は、MD・CDまたはカセットテープとし、カセットテープはA面を使用し最初からスタートできるようにしておくこと。録音媒体には、学校名・選手名を明記すること。(シールは配布しない)また、予備のMD・CDまたはカセットテープ(提出したものと異なる録音媒体が望ましい)を必ず持参し、演技中のトラブル発生時にすぐに提出できるよう準備しておくこと。

1 8 大会事務局

- (1) 平成22年1月16日(土)まで

〒084-0910 北海道釧路市昭和中央5-10-1 北海道釧路商業高等学校内
平成21年度全国高等学校総合体育大会
第59回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
北海道実行委員会事務局宛
TEL 0154-55-1555 FAX 0154-55-1588
メールアドレス ihskating@gmail.com

- (2) 平成22年1月17日(日)から1月24日(日)

〒085-0037 北海道釧路市柳町1-1 釧路市柳町スピードスケート場内
平成21年度全国高等学校総合体育大会
第59回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
北海道実行委員会事務局宛
TEL FAX
メールアドレス ihskating@gmail.com